

編集後記

本誌は査読制を取っていないので、一定程度のレベルを有する論文などを寄稿していただく必要がある。いろいろなケースがあり、学会誌の査読が通らなかったから本誌に寄稿されてきた事例も存在するし、もとより学会誌向きではない書きっぷりの論考が投稿される場合、分量的に学会誌に書ききれない場合、十分には考察されていないが、事実として共有されてもよいような卒論や修士論文の掲載という場合もある。そして言うまでもなく翻訳の掲載であり、アーカイブ的な意味もこめた地理学のレジェンドの方々の玉稿や、教室の報告書などにうずもれたフィールドレポートなどもありかと思われる。その観点からして、寄稿のススメみたいな書き方になっているが、全国の地理学教室および関連学問の先生方に、そうした論考の発掘をお願いする次第です。基本的には水内や科研のメンバーまでご一報いただければ幸いです。

雑誌のボリュームは、年度の秋口に入るところにある程度想定がつく。少々薄くなることが予想されるときは、それこそ優秀卒論や修士論文など、あるいは翻訳など、近場をお願いしておくことになる。特集の企画も歓迎します。たぶん翻訳を絡めた特集が、本誌に一番向いているような感をここ数号で抱いている。今回は私自身、それに挑戦してみた。その序言にも書いたが、とある英語論文を目にしたことがきっかけである。英語ドミナントな学界状況のなか、構造的に秘められた問題について考えるところがあり、特集企画へと発展した。お読みいただきたいところである。

そのことも重なり、23号は昨年の最大ボリュームをさらに超えるものになってしまった。地理思想科研あってこそその継続が可能となっている。科研代表者やメンバーの方々ははじめ、改めてご寄稿いただいた方に感謝申し上げる。

「空間・社会・地理思想」第23号編集代表者 水内俊雄

空間・社会・地理思想 第23号

発行日／ 2020年3月13日

編集／ 科学研究費基盤研究 (B) 「場所・物質・人の関係性に注目した知の形成に関する地理学史研究」(研究代表者 福田珠己)
編集代表者 水内俊雄 (大阪市立大学)

編集協力／ (有) CR-ASSIST

発行／ © 福田珠己

大阪府立大学大学院

人間社会システム科学研究科

〒599-8531 堺市中区学園町 1-1

tamami@hs.osakafu-u.ac.jp

印刷／ 野村印刷 (株)

〒547-0034 大阪市平野区背戸口 1-4-22

電話 06-6760-3001 ファックス 06-6760-3030
